

運動会では、ひと回りもふた回りも成長した姿を見せてくれたぞうぐみさん。

運動会が終わった後も、充実した日々を送っています。

今月のおけいこは2ヶ月振りでしたが、以前に習った事をしっかり覚えていたので、石田先生もビックリし、喜んで下さっていました。

今回は前回の復習。「お運びさん」と「お客様」に分かれての練習……。そして、座布団への座り方、立ち方を教わりました。

## \*10月のお干菓子\*



◎いちよう ◎まつたけ

## \*10月のお花\*



- ◎ミズヒキソウ
- ◎ムラサキシキブ
- ◎タマスダレ



まず、かかとの上にお尻をのせて……。



ぞうぐみの部屋がお茶室に変身……。

片ひざをたてて、立ちます。



お茶碗をもって立つのは難しい……。



お菓子の頂き方はだいぶん上手になりました。

## \*豆知識 — お茶の歴史(1)「お茶のものは中国」

お茶を飲む風習がはじめて伝えられたのは、奈良時代といわれています。

そのころは団茶というお茶の葉をつき固めた“だんご”のようなものでした。

平安時代の終わりごろ中国の宋に渡った栄西という僧侶がお茶の実を持ち帰り、日本に広まっていったそうです。

栄西はお茶は飲んで楽しむだけでなく、病気に効く薬だと時の将軍源実朝に献上し、武家の間には広まり始めました。又、商人の間にも広まっていったようですが、当時ではぜいたくな遊びと考えられ、お茶の産地や茶名を当てたりして楽しまれていたようです。来月は茶道の始まりへと続きます。